



エヴァンゲリウム・カントライ

J.S.バッハ

# 「ヨハネ受難曲」

聖書朗読とコラールによる  
BWV245(日本語)

合唱：エヴァンゲリウム・カントライ  
プレカントライ参加者  
指揮：斉藤律子  
オルガン：矢吹綾子  
聖書朗読：プレカントライ参加者ほか

2026年3月21日(土) 開演15:00  
(休憩無し約60分)

入場  
無料

会場 | JECA  
長津田キリスト教会 2階 礼拝堂  
神奈川県横浜市緑区长津田4-6-9 (下記参照)  
TEL.045(981)3349

(自由献金箱あり)



JR横浜線、または東急田園都市線  
「長津田駅」下車  
北口から徒歩4分、西口から徒歩3分

駐車スペースはございません。  
交通機関でお越しくださるか、  
近隣コインパーキングをご利用ください。

主催 / エヴァンゲリウム・カントライ

協賛 / JECA長津田キリスト教会



# 十



## J.S.バッハ作曲「ヨハネ受難曲」

多くの作曲家が〈受難曲〉を作曲していますが、J.S.バッハ作曲の「ヨハネ受難曲」は、聖書(ヨハネの福音書)に描かれている主イエスの十字架の場面が忠実に作曲(再現)されています。今回は、イエス・キリストが私たちの罪のために十字架でどれほどの苦難を歩まれたのかを〈朗読〉と〈コラール(賛美歌)〉のスタイルでお伝えします。

今日、日本でも多くの指揮者、合唱団などが、高い芸術作品として「ヨハネ」をはじめ、受難曲を演奏していますが、主イエスの十字架と復活による救いに真に与った者たちが歌い、それを聴くことにまざる幸いはないでしょう。

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。  
それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、  
永遠のいのちを持つためである。

ヨハネの福音書 3章16節

聖書 新改訳2017©新日本聖書刊行会

## エヴァンゲリウム・カントライ

ドイツ語の「福音聖歌隊」という意味で、1973年に指揮者岳藤豪希氏により日本の教会音楽の深化向上を願って創設された合唱団です。団員は全員が聖書信仰に立つクリスチャンで、創設以来、音楽をもって聖書の真理を歌い続けています。毎年、各地で教会を中心とした演奏会等を行い、コロナ禍もオンラインコンサート等を行いながら、2023年は〈創立50周年記念演奏動画〉を収録、2025年には、クリスマス動画を公開しました。(ホームページから視聴可：表側QRコードより)

CD「神は世を愛し」「いつくしみ深き」等も好評発売中。

## プレカントライ

エヴァンゲリウム・カントライが主催する諸教会の聖歌隊奉仕者、共に賛美したい方のための講習会です。今年度も千葉と神奈川で行い、今回は千葉と神奈川の参加者がヨハネ受難曲の一部をカントライと共に賛美、朗読を行います。